



SEE MORE JESUS • WANTTOSEEMORE.COM

聖書は忍耐について何と言っていますか?—第2部・ストロング番号付き欽定訳(KJV)聖句

PART 2・聖書の基礎的教理に基づく新しい研究

忍耐—聖書の基礎教理

開会の言葉

信仰の試練は忍耐を生み出し、忍耐はその全き働きを完成させなければならない。それは既に据えられた土台である。今わたしたちはさらに進んで、同じ真理を証しする新たな証人たちを見ていく。ギリシャ語はヒュポモネー(G5281 hupomone、忍耐)であり、圧迫の下で耐え忍ぶこと、重荷を担い続けることである。動詞はヒュポメノー(G5278 hupomeno、耐え忍ぶ)であり、重荷の下にとどまり、逃げ去らないことである。それと並んで立つのはマクロスミア(G3115 makrothumia、寛容)であり、時を待ち続ける長く堪える霊である。古いヘブライ語はカーワー(H6960 qavah、待ち望む)であり、ストロング辞典によればその語根は縄のように結び合わされることを意味し、待ち望む者は神に結びつけられている。聖書において忍耐がどこに置かれているかに注意深く目を留めよ。神の御心が行われた後、そして約束が受け取られる前である。それは競走を走る。それは魂を保つ。それは約束を受け継ぐ。それは農夫がその尊い実を待つように、主の来臨を待ち望む。そしてあなたはそれを自分一人で得るのではない。聖書がそれを教え、忍耐の神がそれを与えられる。耐え忍ぶ人は幸いである。それを探り究めよ。

本研究が答える三つの問い:

1. なぜ私たちには忍耐が必要なのか、そして耐え忍ぶ者には何が約束されているか。
2. 忍耐はどこから来るのか—誰がそれを与え、どこでそれを学ぶのか。
3. 忍耐はどれほど長く待たなければならないか、また主は待つ者にどのような結果をもたらされるか。

既に据えられた土台—忍耐

土台 → あなたがたの信仰の試練は忍耐を生み出す(ヤコブ1:3)。

基礎 → 忍耐にその全き働きをなさせなさい。それは、あなたがたが全き者となり、欠けたところのない者となるためである(ヤコブ1:4)。

THE FOUNDATION → 患難は忍耐を生み出し、忍耐は練達を、練達は希望を生み出す(ローマ人への手紙5:3-4)。

土台 → 節制に忍耐を加え、忍耐に敬虔を加えなさい(ペテロ後書1:6)。

基礎 → 聖徒たちの忍耐はここにある。彼らは神の命令を守る者たちである(REVELATION 14:12)。

土台 —— 試練を耐え忍ぶ人は幸いである。彼は命の冠を受けるからである(ヤコブ1:12)。

パート2は、新たな一連の証人たちによって同じ真理を確認します。

ギリシャ語キーワード

“忍耐” — **G5281 hupomone** — 忍耐して耐え忍ぶこと、下で持ちこたえること
約束を受けるために、あなたがたには忍耐が必要です

“耐える” — **G5278 hupomeneo** — 試練の下にとどまる、耐える、忍耐する
忍ぶ者は幸いなりと我らは思う

“寛容” — **G3115 makrothumia** — 忍耐、寛容
喜びをもって、あらゆる忍耐と寛容に至る

“忍耐する” — **G3114 makrothumeo** — 長く耐え忍ぶこと、長い忍耐を持つこと、辛抱強く耐え抜くこと
ですから、兄弟たちよ、主の来臨まで耐え忍びなさい

(私の個人的な考え——この二つの偉大な言葉に注目してほしい。両者は密接に関連しているが、同じではないからだ。ヒュポモネー(G5281、patience/忍耐)は圧力の下で持ちこたえることであり、担わなければならない重荷のための言葉である。マクロトゥミア(G3115、longsuffering/寛容)は気の長い霊であり、待ち抜かなければならない時間のための言葉である。ヨブは前者を示し、農夫は後者を示している。そして聖書はそれぞれの言葉をふさわしい場所に置いている。競走と試練にはヒュポモネーが必要であり、相続人たちはマクロトゥミアによって約束を受け継ぐ、なぜなら約束が遅れているからである。神はご自分が置かれた場所にそれぞれの言葉を選ばれた。そしてその選択は私たちに教えている。重荷を担うことと時を待ち抜くことの両方をしなければならない、ということ。)

ヘブライ語キーワード

“待つ” — **H6960 qavah** — 一つに結び合わせる、探し求める、期待する、待ち望む
主を耐え忍びて待ち望みたり

“忍耐して待つ” — **H2342 chul** — 苦しむ、痛みを負う、待つ
主のうちに安らぎ、耐え忍びて彼を待ち望め

“信頼” — **H3176 yachal** — 待つこと、忍耐すること、望むこと
彼が私を殺したもうとも、なお私は彼に信頼する

“希望” — **H3175 yachiyl** — 期待する、望むべき
人が望みを抱きつつ、静かに待つことは良いことである

(私個人の考えとして、ストロング辞典によれば、カーヴァー(H6960、待つ)は、その根において縄がより合わされるように、結び合わされることを意味し、そこから、待ち望む、期待するという意味に至る。主を待ち望む者は、待つことにおいて主から切り離されているのではなく、縄のように主に結び合わされており、その待つこと自体が結びつきなのである。そしてクール(H2342、忍耐して待つ)は、女が出産するときのように、痛みをもって労することを意味する。ある種の待つことは苦悶であり、それでも神はそれを忍耐と呼ばれる。さらに、ヤーハル(H3176、待つ、望む)、これはヨブが用いた言葉であり、そこから来るヤーヒール(H3175、期待して)にも注目したい。忍耐の人とは、期待する人である。彼は無のために待つのではなく、彼(神)のために待つのである。)

OPENING ANCHOR(冒頭のアンカー)

ヘブル人への手紙 10:36 神の御旨を行って約束のものを受けるため、あなたがたに必要なのは、忍耐である。

原語キー / **STRONG' S:** ■ G5281 hupomone

あなたがたには忍耐が必要である + あなたがたが神の御心を行った後 → あなたがたは約束を得るためである。

(私の個人的な感想 — 聖書はあなたに忍耐が必要であると言っている。それは一部の人のための飾りではなく、すべての人にとっての必要である。ヒュポモネー(G5281、忍耐)とは、忍耐強い持久であり、重圧の下で持ちこたえることである。そして、そ

れがどこに位置しているかに注目せよ。神の御心が行われた後、そして約束が受け取られる前である。多くの人が神の御心を行いながら、待つことの中で諦めてしまった — 約束が失われたのではなく、ただ遅れているだけである。忍耐は人を、行うことから受け取ることへと運んでいく。)

I. 忍耐をもって走れ——己が魂を得よ

A. ヘブル人への手紙 12:1 こういうわけで、わたしたちは、このような多くの証人に雲のように囲まれているのであるから、いっさいの重荷と、からみつく罪とをかなぐり捨てて、わたしたちの参加すべき競走を、耐え忍んで走りぬこうではないか。

原語キー / STRONG' S: ■ G5281 hupomone

あらゆる重荷を捨て去り、私たちの前に置かれている競走を忍耐をもって走り抜けよ。

(私個人の考え——忍耐とは立ち止まることではなく、走ることである。競走はわたしたちの前に定められている。わたしたちはその道筋を選んだのではないが、それを走ることは選ぶのである。そして誰も重荷を負ったまま走る者はいない——あらゆる重荷と罪とを脱ぎ捨てて、それから走るのである。hupomone(G5281、忍耐)は、競走の全行程にわたって耐え抜くものである。)

B. ルカによる福音書 21:19 あなたがたは耐え忍ぶことによって、自分の魂を勝ち取るであろう。

原語キー / STRONG' S: ■ G5281 hupomone

あなたがたは耐え忍ぶことによって、自分の魂を勝ち取るであろう。

(私自身の思い——短い、深い一節である。あなたがたの忍耐によって——その傍らにではなく、その内側において——人は自分自身の魂を得るのである。忍耐を失えば、魂は押し流される。忍耐を保てば、なお魂をつなぎとめることができる。)

II. 信仰と忍耐によって約束を受け継ぐ

A. ヘブル人への手紙 6:12 怠ることがなく、信仰と忍耐とをもって約束のものを受け継ぐ人々に見習う者となるように、と願ってやまない。

原語キー / STRONG' S: ■ G3115 makrothumia

怠ることがなく → 信仰と忍耐とをもって約束のものを受け継ぐ人々に見習う者となるように、と願ってやまない。

(私個人の思いだが、ここでの忍耐はマクロスミア(G3115、寛容)、すなわち気の長い霊である。そして注目すべきは、この組み合わせだ。信仰と忍耐。信仰は約束をつかみ取り、忍耐はそれが実現するまでしっかりと握り続ける。怠け者はそのどちらも持たないが、相続人たちは両方を持っている。)

B. ヘブル人への手紙 6:15 このようにして、アブラハムは忍耐強く待ったので、約束のものを得たのである。

原語キー / STRONG' S: ■ G3114 makrothumeo

彼は忍耐して待ち望んだ後 → 約束のものを得た。

(私の個人的な思い——これはアブラハムのことである。約束は語られたその日に成就したのではなく、言葉と受領の間には「その後」があり、その隔たりは忍耐によって満たされた。makrothumeo(G3114、忍耐する)——彼は長く待ち、そしてそれを受け取った。あきらめない相続人はみな同じように受け取るであろう。)

C. ローマ人への手紙 8:25 もし、わたしたちが見ないことを望むなら、わたしたちは忍耐して、それを待ち望むのである。

原語キー / STRONG' S: ■ G5281 hupomone

私たちが見ないものを望む → 忍耐をもってそれを待つ。

III. 主が来られるまで忍耐しなさい

A. ヤコブの手紙 5:7 だから、兄弟たちよ。主の来臨の時まで耐え忍びなさい。見よ、農夫は、地の尊い実りを、前の雨と後の雨とがあるまで、耐え忍んで待っている。

原語キー / STRONG' S: ■ G3114 makrothumeo

主の来られるまで忍耐せよ。農夫は地の貴重な実を待ち望む。

(私自身の思い——忍耐はいつまで待たなければならないのか。それは「主の来臨」まで——それが目印である。そしてその情景を見よ。農夫は雨を急がせることができず、それを待つ。なぜなら、その実が尊いからである。あなたのものもそうである。)

B. ヤコブの手紙 5:8 あなたがたも、主の来臨が近づいているから、耐え忍びなさい。心を強くしていなさい。

原語キー / STRONG' S: ■ G3114 makrothumeo

主の来臨は近づけり → なんじらも耐え忍べ + 心を堅うせよ。

C. ヤコブの手紙 5:11 忍び抜いた人たちはさいわいであると、わたしたちは思う。あなたがたは、ヨブの忍耐のことを聞いている。また、主が彼になさったことの結末を見て、主がいかに慈愛とあわれみとに富んだかたであるかが、わかるはずである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5281 hupomone

耐え忍ぶ者を、我らは幸いなる者と思う + あなたがたはヨブの忍耐を聞いた → 主は慈悲深く、あわれみに富みたもう。

(私個人の思い——ここで二つの言葉が会おう。「耐え忍ぶ」はヒュポメノー(G5278、hupomeno、耐え忍ぶ)であり、「ヨブの忍耐」はヒュポモネー(G5281、hupomone、忍耐)である——これは「支え上げる」という言葉であって、「待つ」という言葉ではない。ヨブはただ待つ以上のことをした。彼は重荷の下で持ちこたえたのである。そして、その「終わり」に注目せよ。ヨブの忍耐について聞いた者たちは、主がもたらされた結末を「見た」のであり、その結末とは、あわれみと優しい慈しみである。試練には終わりがあり、その終わりが彼の心を明らかにするのである。)

IV. 忍耐はどこから来るのか——聖書、そして忍耐の神

A. ローマ人への手紙 15:4 これまでに書かれた事からは、すべてわたしたちの教のために書かれたのであって、それは聖書の与える忍耐と慰めとによって、望みをいだかせるためである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5281 hupomone

あらかじめ書かれたもの = 私たちの学びのために書かれたもの → 忍耐と聖書の慰めとによって、望みを持つことができるように。

B. ローマ人への手紙 15:5 どうか、忍耐と慰めとの神が、あなたがたに、キリスト・イエスにならって互に同じ思いをいだかせ、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5281 hupomone

忍耐と慰めの神 → あなたがたが互に同じ思いを持つことを与えてくださいますように。

(私個人の思い——人は忍耐をどこから得るのか。二つの答えが共に立っている。それは聖書と、忍耐の神ご自身である。昔書かれたこと——ヨブ、アブラハム、ダビデ——は、私たちに教えるために書かれた。それは私たちが希望を持つためである。そして聖書が教えることを、神は与えてくださる。神は忍耐の神と呼ばれ、ご自身であるものを、お与えになる。彼に求めよ、そして書を探れ。)

C. コロサイ人への手紙 1:11 更にまた祈るのは、あなたがたが、神の栄光の勢いにしたがって賜わるすべての力によって強くされ、何事も喜んで耐えかつ忍び、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5281 hupomone

あらゆる力によって強められ —— すべての忍耐と寛容とを、喜びをもって身につけるために。

(私個人の思い——そのすべての力が何のためであるかに注目したい。その栄光の力にしたがい、あらゆる力をもって強められる——そしてその目的は、しるしや不思議ではなく、ALL PATIENCE(すべての忍耐)なのである。その傍らにある longsuffering(寛容)は makrothumia(G3115, longsuffering)であり、hupomone(G5281, patience)と一つ所に並べて置かれている——担うことと待つことが共にあるのだ——そしてその両方が WITH JOYFULNESS(喜びをもって)なのである。喜びのない忍耐は重いものであるが、御力はそれを喜びに変えてくださる。)

V. 主を待ち望め — 旧約の証

A. 詩篇 37:7 主の前にもだし、耐え忍びて主を待ち望め。おのが道を歩んで栄える者のゆえに、悪いはかりごとを遂げる人のゆえに、心を悩ますな。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2342 chul

主に安らぎを得よ、そして耐え忍びて彼を待ち望め、また心を悩ますなかれ。

(私個人の思い——一つの息で語られる三つの言葉、休む、待つ、思い煩うなかれ。休むという言葉はダーマム damam(H1826、静まる、静かにする)——主の御前に静まれ。そして耐え忍んで待つはフル chul(H2342、産の苦しみをする、待つ)——それは産みの苦しみのように感じられる待つことであり、それでもなお忍耐なのである。思い煩うことは栄える者を見つめ、休むことは主を見つめる。)

B. 詩篇 40:1 わたしは耐え忍んで主を待ち望んだ。主は耳を傾けて、わたしの叫びを聞かれた。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H6960 qavah

わたしは耐え忍んで主を待ち望んだ → 主は耳を傾けて + わたしの叫びを聞かれた。

(私自身の思いですが、ここで使われている古い言葉はカーヴァー(H6960、待つ)であり、ヘブライ語でダビデはそれを二重に言っています——「待ち望みつつ待ち望んだ」——その待ち望みは限りまで引き伸ばされています。ストロングによれば、その語

根は綱のように「結び合わせる」ことを意味し、待ち望む魂は彼の神に結び合わされているのです。そして答えをご覧ください。神は身を低くされた——いと高き神が、待ち望む者に向かって、その耳を傾けてくださったのです。)

C. 哀歌 3:26 主の救を静かに待ち望むことは、良いことである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3175 yachiyl

主の救を静かに待ち望むことは、良いことである。

(これは私個人の考察であるが、ここでの望みは yachiyl(H3175、待ち望む)であり、これは yachal(H3176、待つ、望む)から来ている——ヨブ自身の言葉であり、それは影が示す通りである。望みと静かな待望とは共にあり、聖書はそれを「良い」と呼んでいる。主の救いは、静かに待ち望む者に臨むのである。)

二人の口

ヘブル人への手紙 10:36 神の御旨を行って約束のものを受けるため、あなたがたに必要なのは、忍耐である。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5281 hupomone

あなたがたには忍耐が必要である——約束されたものを受けるためである。

ヘブル人への手紙 6:12 怠ることがなく、信仰と忍耐とをもって約束のものを受け継ぐ人々に見習う者となるように、と願ってやまない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3115 makrothumia

信仰と忍耐によって約束を受け継ぐ。

ヘブル人への手紙 6:15 このようにして、アブラハムは忍耐強く待ったので、約束のものを得たのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3114 makrothumeo

彼は忍耐して待ち望んだ後 → 約束のものを得た。

ルカによる福音書 21:19 あなたがたは耐え忍ぶことによって、自分の魂を勝ち取るであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5281 hupomone

あなたがたは耐え忍ぶことによって、自分の魂を勝ち取るであろう。

(私個人の考え — 証人たちを並べて見てみよう。一人は、あなたには忍耐が必要だ、それによって約束を受けるためだ、と言う。もう一人は、信仰と忍耐によって彼らは約束を受け継ぐ、と言い、アブラハムは忍耐強く待ち望んだ後に、約束を得た、と言う。受ける、受け継ぐ、得る——三つの言葉、一つの真理。忍耐と約束とは結び合わされており、誰も一方だけを手にすることはできない。そして主もご自身の証しを加えられる。あなたがたは忍耐によって、自分の魂を保つのである。忍耐とは、神が約束されたものをしっかりと握り続ける手である。)

影と実現

Shadow ヨブ記 13:15 見よ、彼はわたしを殺すであろう。わたしは絶望だ。しかしなおわたしはわたしの道を彼の前に守り抜こう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3176 yachal

見よ、彼はわたしを殺すであろう。わたしは絶望だ。

Fulfillment ヤコブの手紙 5:11 忍び抜いた人たちはさいわいであると、わたしたちは思う。あなたがたは、ヨブの忍耐のことを聞いている。また、主が彼になさったことの結末を見て、主がいかに慈愛とあわれみとに富んだかたであるかが、わかるはずである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5281 hupomone

ヨブの忍耐を聞き、主の結末を見たであろう → 主は慈悲深く、あわれみに富みたまう。

(私個人の思いだが、ヨブの口にある「信頼」という言葉はヤーハル(H3176、待ち望む、望みを抱く)である。たとえ彼が私を殺しても、私はなお彼を待ち望み、なお彼に望みを抱く。それこそ暗黒の時における忍耐である。苦しみの中のヨブは影であり、ヤコブはその結果を示している。ヨブの忍耐について聞いた者たちは、主がもたらされた結末を見た、そしてその結末は憐れみと優しい慈しみに満ちている。試練には終わりがあり、その終わりには主が立っておられ、その御心は耐え忍ぶ者に対して優しい。)

閉会

テサロニケ人への第二の手紙 3:5 どうか、主があなたがたの心を導いて、神の愛とキリストの忍耐とを持たせて下さるよう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5281 hupomone

主が汝らの心を導きて → 神の愛とキリストを待つ忍耐とに至らせられんことを。

ヤコブの手紙 1:12 試練を耐え忍ぶ人は、さいわいである。それを忍びとおしたなら、神を愛する者たちに約束されたいのちの冠を受けるであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5278 hupomeno

試みに耐える人は幸いである。彼は生命の冠を受けるであろう。

(私個人の思いとして——ここに全体の結論を述べる。忍耐は必要なものであり、約束はそれに懸かっている。忍耐は競走を走り、たましいを保ち、約束を受け継ぎ、主の来臨を待ち望む。それは聖書によって学ばれ、忍耐の神によって与えられる。それは主のうちに安らぎ、聞き入れられる。土台となる御言葉は、あなたの信仰の試練が忍耐を生み出すと言った。これらの新しい証しも同じことを語り、それがどのように終わるかを示している——失うことなく、冠を得ることに至るのである。主ご自身が、あなたの心をその忍耐の待望へと導いてくださるよう。農夫の雨は近づいており、主の来臨は近い。そして、あなたが試されるとき、あなたはいのちの冠を受けるのである。)

練習クイズ

1. ヘブル人への手紙10:36 — 神の御旨を行って、あなたがたに必要なのは、忍耐である。それは、あなたがたが:

- a) 彼の休みに入る
- 約束のものを受ける
- c) 地を継ぐ

2. ルカ21:19 — あなたがたは耐え忍ぶことによって、自分の:

- a) 魂
- b) 心
- c) 心

3. ヘブル人への手紙6章12節 — 怠ることがなく、信仰と忍耐とをもって

- a) 良い証しを得た
- b) 王国を征服した
- 約束のものを受け継ぐ

4. ヤコブの手紙5章7節 — 見よ、農夫は、地の尊い実りを、耐え忍んで待っている、受けるまで:

- 早い雨と後の雨
- b) 前の雨を適度に
- c) 地の実り

5. ローマ人への手紙15:4 — これまでに書かれた事からは、すべてわたしたちの教のために書かれたのであって、それは聖書の与える忍耐と慰めとによって:

- a) 平和
- b) 信仰
- c) 希望

6. ヤコブの手紙 5:11 — あなたがたは、ヨブの忍耐のことを聞いている。また、主が彼になさったことの結末を見て、主がいかに:

- a) 恵み深く、慈悲に満ちている
- 慈愛とあわれみとに富んだ
- c) 怒るに遅く、慈しみに富む

7. コロサイ1:11 — 神の栄光の勢いにしたがって賜わるすべての力によって強くされ、あらゆる忍耐と、寛容とをもって

- a) 感謝
- b) 柔和

喜び

解答: 1-b, 2-a, 3-c, 4-a, 5-c, 6-b, 7-c

このスタディの分岐

古い約束が新しい約束と出会う様:エホバを待ち望む者は新たな力を得、走れども疲れざるべし(イザ

言葉がどれほど重要であるかを見よ。ヘブル人への手紙10:36の「忍耐」はヒュポモネー(G5281、忍び耐えること)であり、ヘブル人への手紙6:12の「忍耐」はマクロスミア(G3115、寛容、長く耐え忍ぶこと)である——一方は重荷の下で耐え、他方は長い時間を耐え忍ぶ——どちらの語がどこに置かれているか、そしてそれはなぜかを注意深く見極めよ。

→それがキリストの中に隠されている様子:ヨハネはあなたがたの兄弟であり、患難とキリスト・イエスの御国と忍耐とにあずかる者であった(ヨハネの黙示録1:9)、また主は言われる、あなたがたが忍耐の言を守ったから、わたしもまた試練の時にあなたを守るであらう(ヨハネの黙示録3:10)——その忍耐は、わたしたちのものである前に、まず主のものである。

心をこれに向ける方法:忍耐はペテロ第二 1:5-7のはしごの中に位置している——節制に忍耐を加え、忍耐に敬虔を加えよ——そのはしごのすべての段は、この一段に寄りかかっている。

それが永遠にまで及ぶ有様:もし我ら苦しみを忍ぶならば、彼と共に王となるべし(テモテ後書2章12節)——そこにいう「忍ぶ」とはHUPOMENO(G5278、耐え忍ぶ)なり——また試練を耐え忍ぶ人は幸いなり:彼、試みられて後、生命の冠を受くべければなり(ヤコブの書1章12節)。

SOURCES & CREDITS

Scripture: Kougo (Colloquial) (Public Domain (1955 口語訳聖書 — Japan Bible Society's own copyright page confirms the copyright protection period has ended; see registry/JAPANESE_LEGAL_PATH.md. Moral/integrity rights are preserved under Japanese law, so the text is rendered verbatim only, never altered -- pipeline.VERBATIM_LANGS.)) — a redistributable edition, looked up exactly and never machine-translated.

Alternate chapter/verse numbering reconciled with STEP Bible TVTMS (CC BY 4.0).

Strong's numbering & original-language data: OpenScriptures Hebrew Bible (CC BY 4.0); STEP Bible.org — TAHOT/TAGNT/TBESH/TBESG (CC BY 4.0); Robinson-Pierpont Byzantine Majority Text (Public Domain); Strong's dictionary, 1890 (Public Domain).

Typography: Google Noto fonts (SIL Open Font License 1.1).

© SEE MORE JESUS • wanttoseemore.com — shared under Creative Commons Attribution 4.0 (CC BY 4.0).